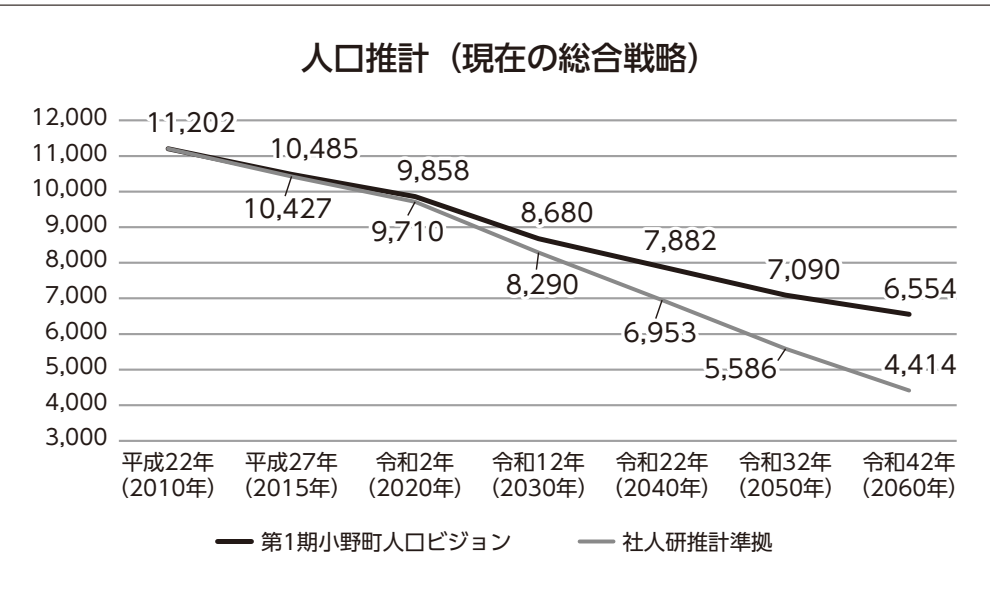


平成27年度において地域創生総合戦略の策定にあたり、小野町の将来に向けた人口の推移の予測を行いました。平成22年の時点で1.54となつている合計特殊出生率が令和12年までに1.40(町の人口に対する子ども女性比率により仮定)となり、その後その数値が維持され、社会移動(転入・転出)が一定程度縮小すると仮定した推計では令和42年には4,414人と、平成22年の半数以下まで減少するという予測が出されました。人口が減少すると各種担手の減少、税収の減、地域コミュニティの維持困難などさまざまなところに影響が出てくるのが想定されます。そのため小野町では、人口減少に歯止めをかけ、地域の活力を維持させるため、令和12年までに合計特殊出生率が2.20程度まで上昇したうえで社会移動が均衡し、令和42年時点で人口を6,554人までに留めるという人口ビジョンを目標に定めました。



ですが、人口減少は進行しており、平成30年7月1日現在で1万人を割り込むこととなりました。今年度で5カ年計画が最終年度となり、新たな戦略を策定することとなりますが、これまでに住民アンケートや住民ワークショップで

皆さんからいただいたご意見や、小野町の現状を示すデータなどから、今、小野町に必要な取り組みは何か、小野町でできることは何かについて検討を重ね、小野町の活性化に向けて必要な施策に取り組んでまいります。

ふるさと小野町会

ふれあい通信



近藤 道子 ●本町出身
(旧姓 羽鳥) ●神奈川支部

「小野町でのこと、そして今」

♪仰げば東矢大臣♪小学生
ひたすら遊んだ。綿あめに憧れたお祭り。裸足で走った町内運動会。
6年生の夏、従妹と参加した「おてつき奉仕団」京都の知恩院で改心。
♪新しい朝が来た♪夏休み
お盆、親戚の集まり、父の会社の旅行、母の職場の海水浴、従妹と遊んだお寺の境内、肝油ドロップ、ラジ

オ体操、プール三昧、隣の食堂の焼きそばとカキ氷。
♪杉の木は天を指さし♪中学生
陸上、交換日記、スズラン(5月)・コスモス(10月)好きな花、公民館で卓球、受験勉強、卒業までに咲いた教室の桜。
♪たたなはり起き伏す山の♪高校生
恋バナ、早弁、郵便友の会、授業をさぼって友達と行った海、卒業式は雨
「遣(や)らずの雨だな」先生がぼつりと言った。

高校卒業後小野町を出て専門学校、仕事、そして主人と出会い結婚。
上の子ども3人は家庭を持ち、今は主人と大学生の次男、専門学生の三女と4人暮らし、孫は今年の夏で4人になりました。

私が育った小野町は、子どもたちにとってもかけがえのない場所で、姉の家族と弟の家族と日程を合わせて帰省し、両親と一緒に過ごした日々、思い出がいっぱいです。最近姉と2人、母の待つ実家に帰ることが多くなりました。弟は仕事が休みの時、母に会いに行ってくれています。
故郷の風景はちょっとずつ変わるけど、温かさはちっとも変わらない。
小野町が私は大好きです。